


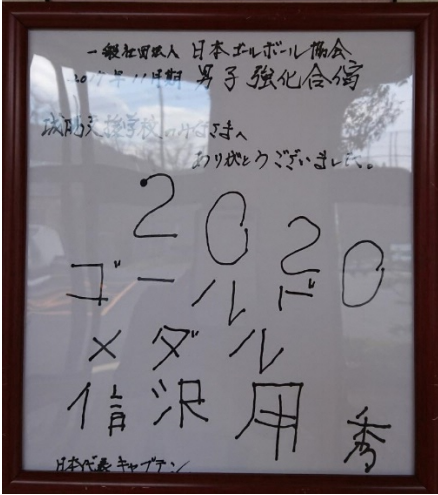
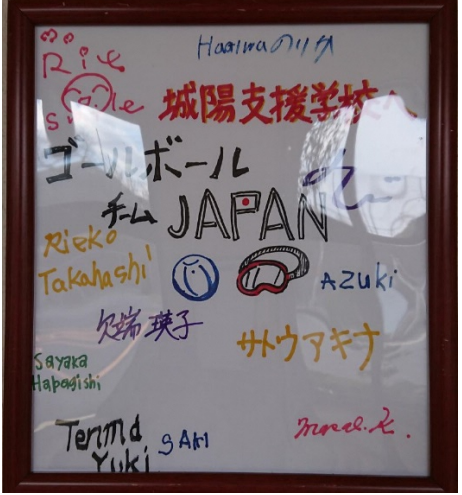
事業実施報告書


- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【京都府立城陽支援学校】

1 実践テーマ	【Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築】
2 実施対象者	本校生徒（6人）・ゴールボール日本代表選手（9人） 本校ソフトボール部生徒（13人）・井手町在住在勤社会人（12人程度）×8チーム、他大会スタッフ10人程度
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（ ） ③ その他（部活動等） (2) 地域における活動 ① イベント名（井手町ソフトボール大会） ② その他（ゴールボール日本代表合宿見学）
4 目標 (ねらい)	・地域にある運動クラブとスポーツを通して交流し、地域社会に積極的に参加し、生涯スポーツを意識し、将来の共生社会に寄与する資質を養う。 ・「ゴールボール」「パワーリフティング」の日本代表合宿見学会をとおして、新たなスポーツを知り、パラリンピアンへの努力を自らの生活に置き換えながら、スポーツの素晴らしさをより深める。
5 取組内容	<p><井手町主催のソフトボール大会> 11月12日（日）。本校ソフトボール部が出場。井手町在住在勤の社会人の方で構成されるチームとトーナメントを行った。</p>  <p><ゴールボール日本代表強化合宿見学> 11月3日（祝）～5日（日）に男子チームの合宿が本校体育館であり、希望生徒が見学。 1月20日（土）21日（日）に本校体育館で大会があり希望生徒が見学。</p>

	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ゴールボール男子 2017 チームJAPAN</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ゴールボール女子 2017 チームJAPAN</p>  </div> </div> <p><地域のスポーツ大会への参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京田辺市陸上大会（陸上部） ・城陽市陸上大会（陸上部） ・久御山町マラソン（陸上部・参加希望生徒） ・城陽市マラソン（陸上部・参加希望生徒）（予定） <p><障害者スポーツ大会への参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第37回全京都障害者スポーツ大会 卓球大会（卓球部） 水泳大会（陸上部） 陸上大会（高等部全生徒） ・京都障害者チャンピオン卓球大会（卓球部） ・第17回全国障害者スポーツ大会愛顔つなぐえひめ大会 （京都府代表選手2名） ・第3回京田辺レーヴチャレンジカップ～フレンドリーカップ～ ・知的障害のある高等部生徒のフットサル大会（参加希望生徒）
<p>6 主な成果</p>	<p><井手町ソフトボール大会></p> <p>惜しくも1回戦で負けたが、その後、練習試合も実施し、地域の方と楽しくスポーツをとおして交流ができた。本校の生徒のプレーに感嘆されたり、「おてやわらかに」など声を掛けていただいたりし、インクルーシブな社会（共生社会）の構築につながられた。</p> <p>また、井手町より1月の井手町マラソン大会にもお誘いがあったが、本年度は募集期間が短く、参加希望生徒がなかったが、次年度は早めに声を掛けていただく事を確認した。</p> <p>山城地域のスポーツクラブ連絡協議会山城ブロック主催の「ボッチャ大会」にも井手町よりお誘いをいただき、希望生徒で参加予定。</p> <p><ゴールボール日本代表強化合宿等></p> <p>強化合宿と大会を希望生徒が見学。合宿の際は、京都府社会福祉事業団心身障害者福祉センター体育館 榎 尚史さん（日本ゴールボール協会役員専務理事、リオオリンピック・パラリンピックNHKゴールボール解説者）にゴールボールのルールや用具などについて、動画を交えて解説していただいた。また、練習の見学の合間に、実際にプレーをさせていただいたり、選手とふれあうことができ、今まで以上にゴールボールへの興味を持つ事ができた。</p>

	<p><地域のスポーツ大会への参加> 地域の小・中・高校生、一般の社会人と参加種目で力を発揮した。大会によっては、社会人となった卒業生も個人で参加されており、生徒達も将来の余暇活動の一つとなる。</p> <p><障害者スポーツ大会への参加> 京都市立を含む、他の特別支援学校の生徒だけではなく、社会人の方も参加されており、大きなスポーツ大会を体験する事ができた。全国大会に選ばれた生徒は、校内で壮行会を行い、京都府代表としての自覚をもって大会へ出場した。全国の大会を肌で感じ、また、全国の出場選手の中には、パラリンピックを目指しておられる方もおり、スポーツをとおして、少しながら世界を感じる事もできた。</p>  <p>フットサルの大会では、休日に参加生徒を中心にサッカー教室を行った。当日は、選手ががんばり見事優勝する事ができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>様々地域のスポーツ行事に参加するために、情報を集める事や地域の自治体、スポーツ団体との連携。 生徒へのアナウンスや参加に向けての事前指導をていねいに行った。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>昨年度、交流ができた同志社大学の取組のお誘いが遅かった事と他の地域の参加予定の行事が重なってしまい、年度当初の予定が実施できなかった。年間の予定を早く掘むことが課題。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>今年度参加した各大会への出場と地域でのスポーツ行事を増やしていきたい。 今年度できなかった、他の高等学校との合同練習などの交流を行いたい。また、合同練習ができた相手校の公式戦の応援など、本校の生徒があじわったことのない経験へもつなげていきたい。</p>